

令和4年度



金津小学校スクールプラン

校訓： 伸びよ 鍛えよ 心とからだ

教育目標

自ら学び、自ら考え、豊かな心でたくましく生きる金津っ子の育成
～ みんなで創る 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 ～

めざす児童像

- ・努力する子
- ・思いやりのある子
- ・心も体も元気な子

めざす学校像

- ・みんなが生き生きと楽しく学ぶ学校
- ・優しく思いやりに満ちあふれた学校
- ・地域に開かれ信頼される学校

重点目標

| ☆確かな学力 | ☆豊かな心 | ☆健やかな体 | ☆信頼される学校 |
|--|---|---|--|
| ○未来をたくましく生きる力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考える力・共感し学び合う力 ・自分の思いを表現する力・情報活用能力 ・グローバル化への対応、SDGsの意識化 ○基礎・基本の習得 ○読書活動の推進 | ○笑顔で元気なあいさつが響き合う学校 ○規律と思いやりのある温かい学級集団作り <ul style="list-style-type: none"> ・自他の人権を大切にしている児童の育成 ・多様性の理解と安心できる居場所づくり ○個性をいかし、夢に向かって挑戦する心づくり | ○基本的な生活習慣の確立 ○金津っ子体力パワーアップ ○食育の推進 ○安全・安心の確保。自己管理能力や安全意識を育て、自他の命を大切にしている児童の育成 | ○家庭や地域との連携と協働 ○教育活動の積極的な発信。 ○ふるさと愛の醸成。地域の教育資源を活用し地域の方々と共にふるさと学習やキャリア教育を推進する。 |
| 《具体的な取組》 | 《具体的な取組》 | 《具体的な取組》 | 《具体的な取組》 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントにより伸ばす力を明確化。体験活動や社会とのつながりを重視し学びへの意欲(わくわく)を高める。自己解決や仲間と考えを深める時間を確保し探究力を育む。 ・タブレット端末等を効果的に活用する。 ・個に応じた学力を伸ばす。 ・国語を要とし、ことばの力を高め表現力を伸ばす。(プレゼン力・コミュニケーション力) ・学校図書館の活用や読み聞かせ、IKOSSAとの連携により読書に親しむ機会を増やす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を進め周りとながら育む。 ・道徳授業や特別活動の充実。話し合いや体験活動の中で自分や友達のよさや個性に気づき認め合う集団を育てる。 ・家庭や外部機関との密な連携。日々細やかな教育相談や情報共有を行い、いじめや不登校の未然防止・早期発見や、児童保護者に寄り添った支援に努める。 ・特別支援教育の充実 ・SST「ほのぼのスキルタイム」を通し良好な人間関係を営むためのスキルを養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「金津っ子生活チェック」の活用や「スマートル」の徹底等、家庭と協力しながら望ましい生活習慣を身に付ける。 ・運動に親しみ、目標をもってマラソンやなわとびに取り組むよう手立てを工夫する。 ・栄養教諭と連携し、食への関心を高める。 ・日々の保健安全指導や防災・防犯訓練などを通して危険予知能力・危険回避力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校公開やホームページ、各種おたより、連絡帳等を通して家庭と情報を共有し、子ども達の健やかな成長を共に支える。 ・情報モラル等、今子ども達の課題となっている情報を発信し、家庭の協力を求める。 ・地域での体験学習を計画的に実施し、理解を深める。児童が実感したあわら市の魅力をICT等を活用し積極的に発信する。 ・応援ボランティアを募り、地域の教育資源を積極的に活用する。 |

| 《数値目標》 | 《数値目標》 | 《数値目標》 | 《数値目標》 |
|--|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しい」と答える児童90%以上 ・「授業が分かる」と答える児童が90%以上 ・「親子読書」に取り組む等、家庭でも子どもが読書に親しむ機会を設けている保護者が70%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んであいさつをしていると答える児童が90%以上 ・みんなに対して優しい言動ができたと答える児童が90%以上 ・子どもに思いやりの心が育ってきていると感じる保護者が80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・業間マラソンやなわとびを頑張る児童が90%以上 ・安全に気をつけて行動している児童が90%以上 ・わが子は基本的な生活習慣が身についていると感じる保護者が80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校は教育活動の様子をよく発信していると感じている保護者が80%以上 ・地域の伝統や文化に興味をもち、自分達のふるさとが好きと答える児童が80%以上 |

◆業務改善のための取組

- ・ICTや校務支援システムを活用し、業務のスリム化に努め、教材研究等の時間を確保する。
- ・校務分掌を複数人体制とし、業務を分担することで事務処理の効率化を図る。
- ・退勤目標時間を設定し教職員のワークライフバランスを整えることで心身の健康を守り、子ども達によりよい教育を実践する環境を作る。